

《各学年の特徴》

- 1年 音読や動作化を楽しみながら学習する児童が多い。正しい表記で書く力に個人差がある。
- 2年 自分の考えを文章で表現しようとする児童が多いが、正しい表記で書く力に個人差がある。
- 3年 自分の考えを伝えようとする意欲はあるが、基本的な読み書きを正しく行い、表現する力に個人差がある。
- 4年 自分の考えをもっているが、基本的な読み書きを正しく行い、表現する力に個人差がある。
- 5年 自分の考えをもち、表現することもすすんでできるが、相手に伝わるように話したり、文法を正しく理解し、文章に書き表したりする力に個人差がある。
- 6年 目的に応じて文章を書く力、話を正確に聞き取る力、筋道を立てて話す力に個人差がある。

《全国学力・学習状況調査から見られる指導の重点》

- ・ 根拠となる事実を基に、自分の考えを論理的に記述する力を高める。
- ・ 文章に応じて正しく漢字を書けるようにする。

育てたい力（課題）

- 1年 語彙を正しく理解して、読んだり書いたりする力。
- 2年 自分の考えをもち、文章や言葉で正しく表現する力。
- 3年 自分の考えを整理し、伝えたいことを文章や言葉で正しく表現する力。
- 4年 文章の組み立てを意識し、筋道を立てて自分の考えを表現する力。
- 5年 文法を正しく理解し、目的に合った文章全体の構成や展開を考える力。
- 6年 文章の主題及び要旨をとらえたり、自分の考えの理由と根拠を明確にし、分かりやすく表現したりする力。

☆授業改善の具体策☆

- ・ 読書活動の充実 ・ 家庭学習（音読）の連携 ・ 学習用語の提示
- ・ ICT機器の活用 ・ モジュール指導の活用 ・ 話し方や聞き方の型の提示
- ・ 主体的な学習をねらった学習課題の設定

- 1年 ひらがなやカタカナ、漢字を正確に読み書きできるように、日常的な音読や短作文を書く活動を設定する。
- 2年 音読や、短作文の活動など、習った漢字や文章の書き方を活用する場面を多く設定する。
- 3年 文法や文章構成の理解を深めるのに効果的なモデル文を提示する。基本的な書く能力を身に付けられるように、定期的に作文を書く活動を設定する。
- 4年 文法や文章構成の理解を深めるのに効果的なモデル文を提示する。習得した読み・書きの能力を活用する場面を効果的に設ける。
- 5年 モデル文を基に文章構成の理解を図り、他教科でも活用する場面を設定したり、ファシリテーターとしての役割を誰もが経験したりできるようにする。
- 6年 教科横断的に授業を設計し、学習した知識や技能を生かす場面を意図的に設定する。

- 1年 身近な題材を基にして、日常的に考えたり話したり、聞いたりする活動を取り入れる。
- 2年 身近な題材を基にして、自分の考えを伝えたり相手の考えを聞いたりする活動を取り入れる。
- 3年 自分の考えが明確に相手に伝わるように話したり、相手が伝えたい内容を考えながら聞いたりするのに効果的な対話の場面を設定する。
- 4年 自分の考えが明確に相手に伝わるように話したり、相手が伝えたい内容を考えながら聞いたりできるように、効果的な対話の場面を設定する。
- 5年 互いの考えをその場で共有し、分かりやすい言葉や表現に気付き、目的に応じた文章を書けるようにするために、ICT機器を活用する。
- 6年 言葉や表現を選んで文章を書いたり話したりできるように、目的や意図、相手を意識させる言葉掛けをしたり、ICT機器を活用したりする。

- 1年 言葉に対する関心を高められるような、言葉集めや言葉遊びに日常的に取り組む。
- 2年 主体的に学習に取り組むことができるように、学習内容と身近な生活や体験とを関連付ける。
- 3年 児童が見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるように、学習のゴールを導入時に明確に提示する。
- 4年 友達との対話を基に自分の考えを深め、問題意識をもって学習に取り組めるような言語活動を設定する。
- 5年 子供たちが主体的に取り組めるような、単元に応じた言語活動を設定する。
- 6年 言葉への興味・関心を高めながら、読書活動につながるような、幅広い言語活動を設定する。

《知識及び技能》

《思考力・判断力・表現力等》

《学びに向かう力》